

高村昇助教授に国立ベラルーシ医科大学から大学名誉博士号を授与される



高村助教授に贈られた名誉博士号



授与式後の記念写真

前列左から高村助教授，齋藤学長，ベスパルチュック・
国立ベラルーシ医科大学学長，井石哲哉長崎県医師会長，
小池孝行駐ベラルーシ特命全権大使

1月29日(月)，大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻社会医療科学講座公衆衛生学分野の高村昇助教授は，本学と学术交流協定を締結している国立ベラルーシ医科大学（ベラルーシ共和国，ミンスク市）から名誉博士号を授与されました。同医科大学は，ベラルーシ共和国の医学教育・研究分野における中心機関として，1986年4月26日のチェルノブイリ原子力発電所の事故後，ヒバクシャ医療や放射線生命科学の分野で積極的に本学と共同研究・事業を推進しており，2001年には本学と学术交流協定を締結しています。今回の名誉博士号の授与は，高村助教授のこれまでの同医科大学への貢献に対して行われたもので，本学においては大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設の山下俊一教授に続いて2人目の授与となります。授与式には，在ベラルーシ共和国日本大使館の小池孝行大使も臨席され，あわせて同医科大学を訪問した齋藤学長，井石哲哉長崎県医師会長（長崎ヒバクシャ医療国際協力会・会長）にも長年の功績に対して感謝状が贈られました。

（医歯薬学総合研究科学術協力課）